

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	広島原爆体験者に対する相談支援事業			担当部局庁	健康局		作成責任者				
事業開始年度	平成25年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課指導調査室		総務課指導調査室 小野 清喜				
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	平成29年度広島原爆黒い雨体験者に対する相談支援事業 実施要綱						
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障						
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	広島原爆による黒い雨を体験したと訴える方々に対する相談支援事業を実施し、不安軽減を図ることにより、その症状の改善等の向上を図ることを目的とする。										
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	広島原爆体験者に対する不安軽減事業 対象者：広島原爆により黒い雨を体験したと訴える方 事業：(1)保健所、市町村保健センター等で、保健師等による個別面談を通じた継続的な保健指導と健康教育等を実施 (2)相談のために必要となる健康診断を受診した際の自己負担や、相談事業に参加した際の交通費の一部を助成 (3)健康不安を訴える方に対して専門医によるケアの実施										
実施方法	委託・請負										
予算額・ 執行額 (単位：百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	64	63	62	61	59				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	▲ 1	▲ 14	-	-				
	計		64	62	48	61	59				
	執行額		54	50	48	-		-			
	執行率 (%)		84%	81%	100%	-		-			
当初予算+補正予算に対 する執行額の割合 (%)		84%	79%	77%	-		-				
平成29・30年度 予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	原爆症調査研究等委託費		61	59	事業対象者数の減						
	計		61	59							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 毎 年度
	広島原爆による黒い雨を体験したと訴える方々に対する不安軽減を図るため、常設相談窓口及び巡回相談会により、その症状の改善等を図ることを目的としており、すべての相談者の不安軽減を目標とする。		成果実績は、相談後のアンケートの結果、不安が軽減されたと回答した相談者の割合		成果実績	人	69	67	70	-	-
					目標値	人	100	100	100	-	100
					達成度	%	69	67	70	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)		指導調査室調べ									

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	活動実績	当初見込み							
広島県市における相談会開催回数 (常設窓口は含まず)	活動実績	件	13	12	12	15			
	当初見込み	件	17	12	12	15			
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト = X / Y						千円	4,154	4,167
	X:「予算執行額(百万円)」 Y:「相談会開催件数(回)」		計算式 X/Y	54/13	50/12	48/12	61/15		
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	I-5 感染症など健康を脅かす疾病を予防・防止するとともに、感染者等に必要な医療等を確保すること							
	施策	I-5-4 原子爆弾被爆者等を援護すること							
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標年度
								-	-
				実績値	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)				
					-				
				-					
				-					
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
広島原爆による黒い雨を体験したと訴える方々に対し、広島市等で、保健師等による個別面談を通じた継続的な保健指導と健康教育等を実施する。また、健康不安を訴える方に対して専門医によるケアを実施することにより、その症状の改善を図る。									
経済・財政再生アクション・プログラム	改革項目	分野:	-	-					
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度
					-			-	-
				成果実績	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度
					-			-	-
				成果実績	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善

事業所管部局による点検・改善				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	事業目的(広島原爆による黒い雨を体験したと訴える方々に対する不安軽減を図ることにより、その症状の改善等の向上を図ること)を考慮すると、重要性の観点から国費を投入すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	目的(広島原爆による黒い雨を体験したと訴える方々に対する不安軽減を図ることにより、その症状の改善等の向上を図ること)を考慮すると、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	広島原爆による黒い雨を体験したと訴える方々に対する不安軽減を図ることにより、その症状の改善を図ることを目的としており、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	本事業は、広島に投下された原子爆弾による黒い雨を体験されたことにより、健康状態に不安を抱いている方々に対する相談支援を実施する事業であり、事業の実施にあたって必要となる対象者の確認などは、黒い雨降雨地域の自治体以外には実施不可能であることから会計法(昭和22年法律第35号)第29条の3第4項、予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定に基づき、広島県、広島市と随意契約により契約を締結している。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	常設窓口の設置、巡回相談会の開催に必要な契約をおこなっており、単位あたりコストは妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	当該事業を実施する上で必要な経費(相談支援事業費、相談員に対する研修事業費、協議会経費)に限定されている。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	当該事業を実施する上で必要な経費(相談支援事業費、相談員に対する研修事業費、協議会経費)に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	相談事業利用者の不安軽減率は約70%と一定の成果を上げている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	見込みどおりに執行できている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	広島原爆による黒い雨を体験したと訴える方々に対する不安軽減を図ることに活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-	
	所管府省名	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	相談された方のアンケート調査で、約7割の方が「不安が完全になくなった」又は「不安が多少なくなった」と回答しており、事業実施の効果ができていると考えられる。		
	改善の方向性	一定の会場で行う巡回相談会の開催だけでなく、地区訪問相談会を開催するなど、高齢化が進む利用者の利便性向上のための改善を図っているところである。30年度予算の要求に当たっても、引き続き事業の充実、効率性の向上をはかり適正な規模の予算確保に努める。		

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現
状
通
り

広島原爆体験者に対する不安軽減に寄与する事業であることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通
り

-

備考

-

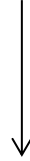
関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	25新-011	平成26年度	180	平成27年度	189	
平成28年度	189					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
48百万円

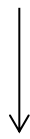
委託契約に基づき、事業に
要する経費を交付。



【随意契約(その他)】

A 広島市、広島県(2県市) 48百万円

委託契約に基づき事業を実施



【随意契約(その他)】

B 広島原爆障害対策協議会
22百万円

相談事業に係る医師の派遣等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位:百万円)

